

# ユニオンファンド 月次レポート

第120号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2018年11月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 相場の変動にどう向き合うか

年初に続き株式市場が再び荒れ模様となりました。心配しておられる方は少なくないと思います。運用責任者として、皆さまが不安を感じておられることを心苦しく思っています。ただ、思ったようにいかない時や、今やっていることが間違っているのではないかと思いついた時にまずすべきなのは、不安や抱え続けることでも、ましてやけを起すことでもなく、基本に立ち返ることだと思います。

#### なぜ投資をしているのか？ どういう投資をしているのか？

投資の基本とは何でしょう。私は、第1に投資目的を明確にすること、第2に、その目的に合致した方法で投資することだと思っています。

「将来のおカネの不安をなくすため」の「財産づくり」が投資の目的であるなら、株価の下落は、今は見たくないけれど、将来を考えるとありがたいことだとも言えます。同じ金額でより多くの数量(口数)を蓄えることができるからです。それを「種まき」とも言い、株価が回復した時に大きな花を咲かせることにつながります。

ただし前提があります。投資しているものが「大丈夫なもの」であることです。これは時々お話しすることですが、私が最初に就職した会社は、その後破綻しました。20年近く買い続けた持ち株の価値も、最後はほぼゼロになりました。長期で持ち続けても、つみたて投資をしても、株価が下がり続ける会社では成果は得られません。経営がしっかりしていて業績の先行きは明るく財務体質もよい、あるいは株価がその会社の価値に比べて極端に安い、といった会社を選んで投資することが大切なのです。

#### きちんと投資している限り、株価下落は雑音にすぎない

景気が悪化すれば、企業倒産が多発することもあるでしょうし、金利が大きく上がれば株価は下向きになりがちです。どれほど優れた企業であっても、こうした内外の様々なマイナス要因を無視して株価が上がり続けるわけにはいきません。しかし、真剣で綿密な調査を経てきちんと選択した企業であれば、景気の回復などによって株価が反転上昇する際には真っ先に買い戻される可能性が高いと期待できます。ユニオンファンドが投資しているのは、そうした企業を発見する能力にたけた運用会社のファンドだと思っています。

世界の景気は、金融危機後の長い回復を経て、来年あたりから一旦お休みモードに入りそうな気配です。株価も、よくて上がったたり下がったり、悪くすれば一段安もないとは言い切れません。損は増えても利益は増えず、イライラさせられることになるかもしれませんが、そんな時こそご自身の投資の目的と方法をぜひ思い出していただければと思います。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2018年10月末現在)

## 基準価額

22,264 円

## 純資産総額

58 億 39 百万円

## 期間別騰落率(%)

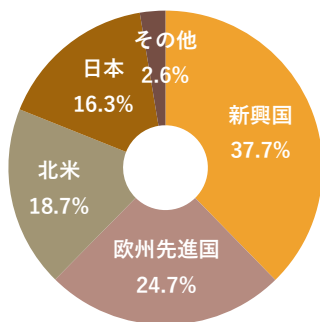
1 ヶ月	-10.22%
6 ヶ月	-10.74%
1 年	-13.82%
3 年	4.90%
5 年	22.88%
設定来	122.64%

## 複利年率(%)

8.30%

\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2018年9月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	6.9%	-11.1%
スパークス F	日本	7.2%	-13.1%
キャピタル F	欧米	14.0%	-11.0%
ハリス F	欧米	20.3%	-13.0%
コムジェスト・ヨーロッパ F (SA/90)	欧州	6.4%	-11.1%/-11.1%
コムジェスト・エマージング F (SA/95)	新興国	36.2%	-9.4%/-9.4%
現金等	-	9.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

コムジェスト・ヨーロッパ F、同エマージング F：2 本のベビーファンドの各騰落率を表示

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2018年10月の市場動向と運用状況

### 投資環境と基準価額の推移

10月の世界の株式市場は軒並み10%前後の大幅安となりました。背景はいくつかありますが、第1に挙げられるのは米国の長期金利の上昇です。金利が上がっているのは、月初に伝えられた雇用情勢の好調など、景気がいいからであり、これ自体は株価にとってプラスです。しかし、金利上昇も行き過ぎると景気を冷やす要因になりますし、金利と比較して株式の配当利回りの魅力が低下するため、過去にもしばしば株価下落要因となってきました。

背景の第2は、世界経済の伸びが鈍化するとの警戒感が強まったことです。すでに中国や欧州の景気は拡大ピッチが落ちています。貿易面での米中対立が深まって中国の成長率が一段と低下するようであれば、日本を含む近隣のアジア諸国にとどまらず、世界経済の減速要因になりかねません。IMF（国際通貨基金）が発表した恒例の世界経済見通しでも、新興国を中心に経済成長率予想の下方修正が目立ちました。中国でのビジネスが多いグローバル企業にはこの影響が出始めており、業績見通しの悪化から株価が大きく売られるケースが増えました。

欧州では、イタリア政府の予算案が財政再建の後退を示唆する内容だったことがマイナス材料になりました。EU（欧州連合）はこの予算案に強く反対しており、一方のイタリア政府関係者からは改めてユーロからの離脱をおおわせる発言があるなど、対立の激化がユーロ圏全体の不安感をあおりました。

為替市場では、前述のイタリアの政府債務問題と英国のEU離脱を巡ってユーロや英ポンドが軟調でした。ただ、株式市場が大きく混乱した割には全体として平穏で、円、ドル、新興国通貨の動きは一部を除き小幅でした。

ユニオンFは10%を超える大幅な値下がりとなりました。組入ファンド全てが市場の下落の影響を受けて値下がりをしたためです。コムジェストEMFは、2ヵ月連続で市場よりも好調な動きとなり、唯一値下がりが10%未満にとどまりました。

### 運用の状況

市況の悪化を受けて買付は見送りました。月末時点の全体の組入比率は90.9%と、9月末から若干低下しました。

### 今後の見通しと運用方針

売り込み過ぎた反動で、株式市場が短期的に反発する可能性はありそうです。ただ、米国では10月の雇用統計で雇用情勢が一段とタイト化し、賃金も上昇気味であることが示され、長期金利は再び上昇しています。連銀（FRB）による利上げは従来の想定どおりに進みそうです。貿易問題も、大統領の発言で早期決着の期待が高まったかと思えば、即座に政府高官から否定的な発言が出るといった具合で、先行きは極めて不透明です。

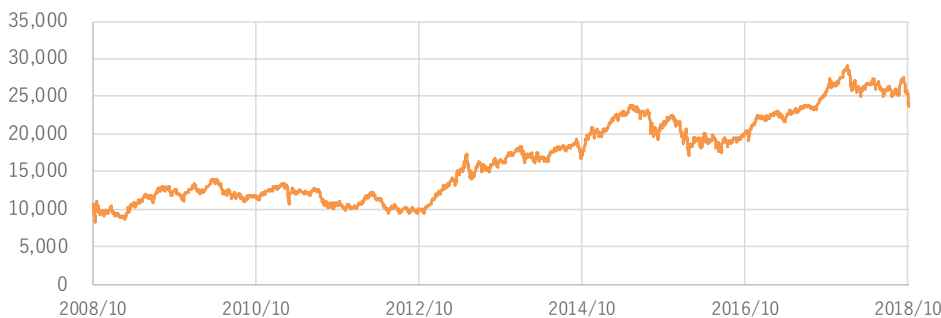
こうしたことから上値は当面限定的と見ていますが、だからと言ってこのまま深刻な景気後退に陥るほどでもないと考えています。また、これまでの米国一強の相場が修正され、割安市場に資金が戻る可能性もあります。市場の軟調場面を中心に割安な市場に投資するファンドの買い増しの機会を探っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



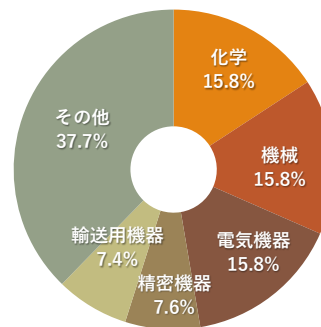
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.0%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ブリヂストン	4.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	3.8%	日本	化学	トイレットペーパー首位
4 ダイキン工業	3.6%	日本	機械	エアコン世界首位
5 国際石油開発帝石	3.0%	日本	鉱業	石油メジャー
6 テルモ	3.0%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 浜松ホトニクス	2.8%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 TOTO	2.7%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
9 信越化学工業	2.7%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
10 トヨタ自動車	2.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>33.6%</b>	<b>現金等</b>	<b>11.9%</b>	

業種別構成比



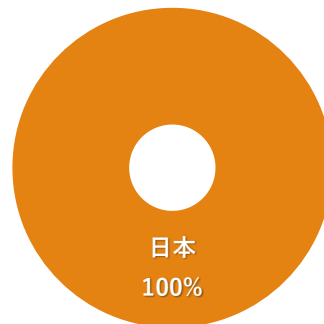
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2018年10月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



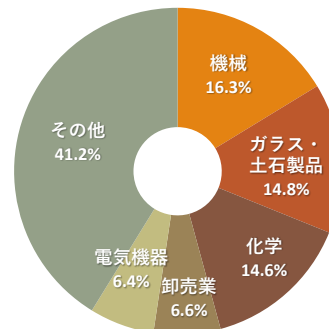
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
バリューコマース	—	日本	サービス業	Yahoo子会社。インターネット広告等
シップヘルスケアHD	—	日本	卸売業	医療機器・設備
日本電気硝子	—	日本	ガラス・土石製品	ディスプレイ用ガラス等で世界大手
MARUWA	—	日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業	—	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
日本信号	—	日本	電気機器	鉄道信号日本1位
エフピコ	—	日本	化学	食品トレなど容器の大手
デサント	—	日本	繊維製品	スポーツウェア・用品大手
トーセイ	—	日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄	—	日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
<b>現金等</b>	<b>7.1%</b>			

業種別構成比(マザーファンド)

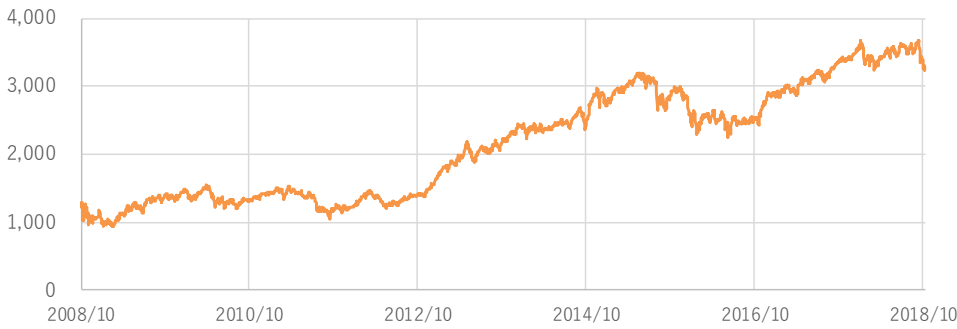


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2018年9月末現在 >

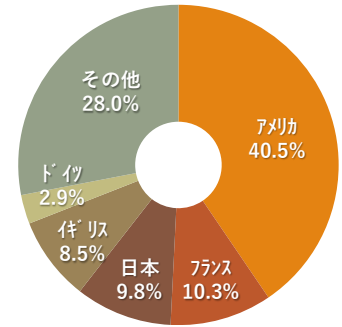
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



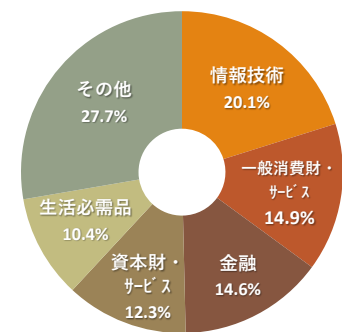
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Airbus	2.1%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
2 Pernod Ricard	1.8%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
3 Alphabet	1.8%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
4 GoDaddy	1.6%	アメリカ	情報技術	ドメイン登録、レンタルサーバ
5 AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
6 Microsoft	1.5%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
7 Ocado	1.4%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
8 Visa	1.4%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
9 Seattle Genetics	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
10 ASML	1.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
上位10銘柄	15.9%	現金等	4.7%	

業種別構成比



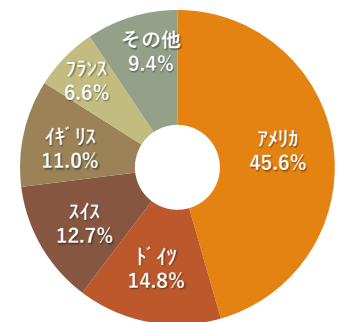
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年9月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



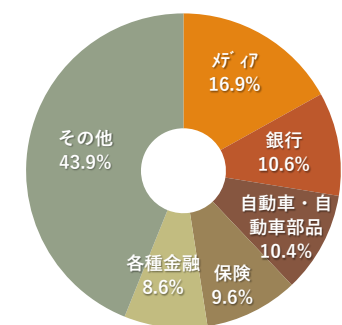
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.2%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	5.0%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
3 GLENCORE	4.4%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
4 CNH INDUSTRIAL	4.3%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 ALLIANZ	4.0%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 CREDIT SUISSE	3.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
7 ALPHABET	3.7%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	グーグルの持ち株会社
8 CHARTER COMMUNICATIONS	3.7%	アメリカ	メディア	ケーブルテレビ、携帯電話
9 NASPERS	3.3%	南アフリカ	メディア	中国TENCENTの大株主
10 AIG	3.1%	アメリカ	保険	総合保険大手
上位10銘柄	40.6%	現金等	2.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



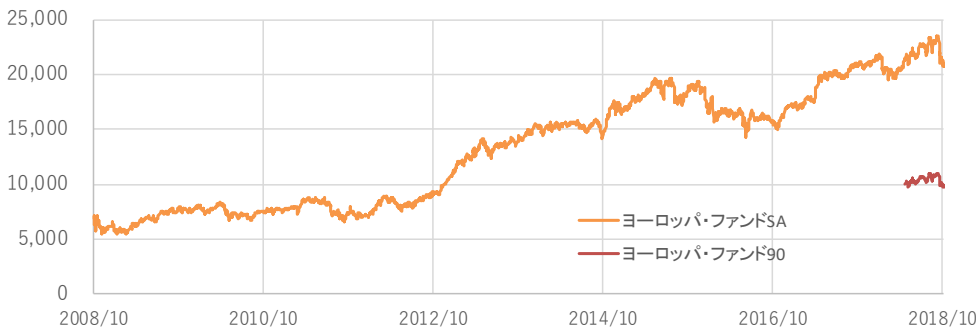
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年9月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

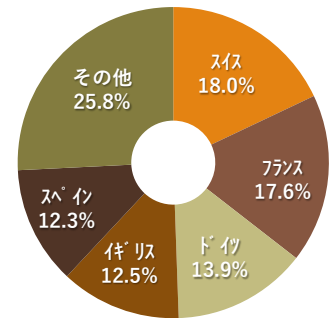


# コムジェスト・ヨーロッパF (ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA) (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



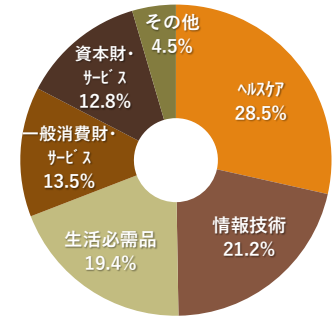
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 INDITEX	5.8%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
2 AMADEUS	5.7%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
3 ESSLORLUXOTTICA	5.2%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 COLOPLAST-B	4.7%	デンマーク	ヘルスケア	人工肛門世界大手
5 SAP	4.1%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
6 HEINEKEN	3.9%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
7 LINDT & SPRUENGLI	3.5%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
8 STRAUMANN HD	3.4%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
9 WIRECARD	3.4%	ドイツ	情報技術	オンライン決済
10 ASSA ABLOY B	3.4%	スウェーデン	資本財・サービス	鍵等のセキュリティシステム世界最大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>43.0%</b>		<b>現金等</b>	<b>6.3%</b>

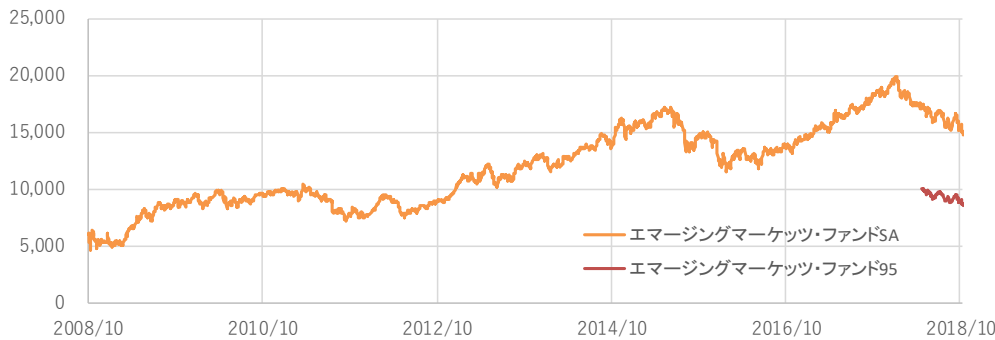
業種別構成比(マザーファンド)



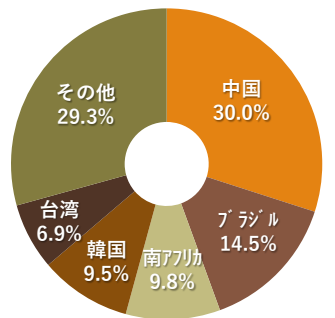
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年10月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA) (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



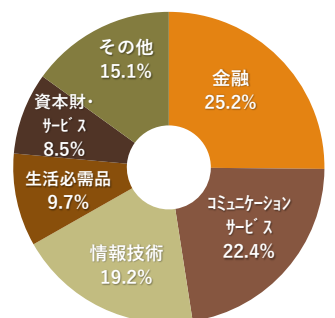
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 PING AN INSURANCE	5.5%	中国	金融	保険大手
3 BAIDU ADR	3.6%	中国	コミュニケーションサービス	検索エンジン世界2位
4 NETEASE ADR	3.6%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
5 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.5%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
6 FOMENTO ECONOMICO	3.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
7 CHINA LIFE	3.2%	中国	金融	生保国内最大手
8 BB SEGURIDADE	3.1%	ブラジル	金融	保険大手
9 POWER GRID OF INDIA	3.0%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 SAIC MOTOR	2.9%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
<b>上位10銘柄</b>	<b>38.4%</b>		<b>現金等</b>	<b>2.8%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年10月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 定期定額購入の引落しができなかった場合について

引落先金融機関の口座が「残高不足」等で引落しができなかった場合、当月の定期定額購入は行ないませんが、翌月以降の引落しは通常通りのご指定金額で引落しを行ないます。**なお、引落しできなかった分を翌月まとめて引落しすることはできません。**

当月引落しできなかった分の購入をご希望される場合は、スポット購入による方法にてご購入ください。また、定期定額購入と同じタイミングでの購入をご希望される場合は、当月の引落日より 6 営業日後の日にスポット購入代金をお客様専用の「ファンド購入用振込先口座」へお振込みください。引落日等、各月の詳しい情報は弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

※ スポット購入の振込手数料はお客様のご負担となります。

### スポット購入のお申込み受付時間について

スポット購入とは、弊社の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からの都度のお振込みによりファンドを購入いただくものです。弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。販売手数料はかかりません。

**<当日のスポット購入のお申込みは、15時までに弊社でご入金を確認できたものに限ります。>**

現在、銀行などでは、口座振込の時間を延長する傾向にあります。弊社の「ファンド購入用振込先口座」を設けております「りそな銀行」も、振込みが24時間即日入金可能となっておりますが、弊社のスポット購入につきましては、**当日15時までに弊社でご入金の確認ができたものが当日のお申込み受付分となります。**

15時以降に確認できたものは、翌営業日受付分となります。

- ※ 15時直前などにお振込みされた場合に、当日分として確認できないことがありますのでご注意ください。
- ※ お振込みの際は、「**振込依頼人**」名を必ずお客様ご自身のお名前をお願いいたします。
- ※ 「ファンド購入用振込先口座」につきましては、口座開設いただいた際に弊社より簡易書留郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」に記載しております。  
(お客さま控えは再発行できますので、ご希望される場合は弊社までご連絡ください。)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 金** 信託財産留保金はありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。  
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。  
[\*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]  
\* 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。  
目安であり、組入状況により変動します。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。